



備後圏域熱中症対策官民連携プロジェクト キックオフ会議

主催・共催

備後圏域連携協議会、大塚製薬株式会社中国支店

『備後圏域熱中症対策官民連携プロジェクト キックオフ会議』

□開催目的

備後圏域の市町・企業・団体・大学等がそれぞれの有するネットワーク等の強みを活用して広域で熱中症対策に係る啓発を行うことで、熱中症救急搬送者(特に高齢者)の減少につなげる。
また、熱中症対策に係る広域での官民連携の枠組みをつくり継続的な取組とする。

□取組目標

備後圏域内の熱中症救急搬送者数の減少、熱中症による死亡者のゼロ

□主催・共催

備後圏域連携協議会、大塚製薬株式会社ニュートラシューティカルズ事業グループ中国支店

□開催場所

まなびの館ローズコム 4階 中会議室 (福山市霞町一丁目10番1号)

□開催日時

2026年5月8日(金)14時00分～15時30分 (約90分)

アジェンダ

司会:福山市備後圏域連携推進室長

■ 備後圏域連携協議会代表者 ご挨拶

(福山市副市長 中津雅志)

■ 大塚製薬株式会社中国支店代表者 ご挨拶

(大塚製薬株式会社ニュートラシューティカルズ事業グループ中国支店 支店長 加納大輔)

■ 昨夏の振り返りと熱中症対策の先進的な取組事例紹介

(発表 独立行政法人環境再生保全機構 佐古勇策様)

■ 備後圏域内 熱中症救急搬送者数の現状

(発表 環境保全課・大塚製薬株式会社ニュートラシューティカルズ事業グループ中国支店)

■ 2026年度 熱中症啓発活動プランについて

(発表 自治体様・企業団体様)

■ ポスターお披露目

■ クロージング

(福山市経済環境局長 藤井伸哉)

熱中症救急搬送者数

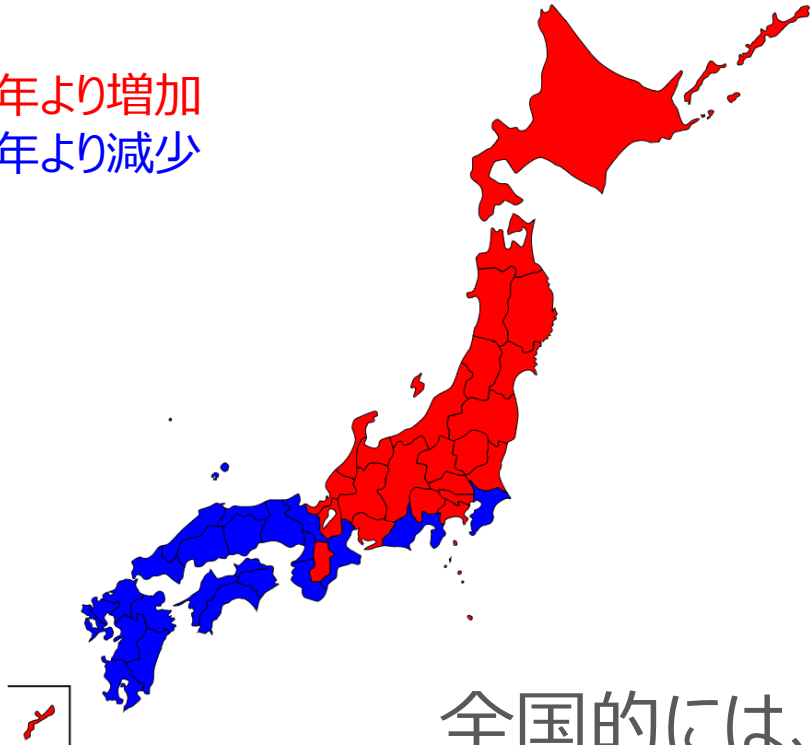
期間：令和6年5-9月、令和7年5月-9月 / 単位：人

令和7年は、全国の熱中症救急搬送者数が過去最多の**10万人超**
東日本（特に関東圏）を中心に大きく増加

※地域差はあるが、全国的に高いリスク状態が継続

【全国】搬送者数令和6年比較

■ 昨年より増加
■ 昨年より減少



【中四国・備後圏域】搬送者数令和6年比較

	中四国	備後圏域
令和6年	11,463	947
令和7年	10,688	823

6.8%減
13.1%減

全国的には、猛暑の分布により地域差が生じた
中四国・備後圏域では、前年と比べて減少している

備後圏域市町別 熱中症救急搬送者数

期間：令和6年5-9月、令和7年5月-9月 / 単位：人

※人口比換算が高い順に記載

令和6年

		救急搬送者 総数	人口比換算 (1万人あたり)
1	竹原市	38	16.5
2	尾道市	187	14.6
3	府中市	46	12.8
4	三原市	112	12.7
5	井原市	44	11.8
6	世羅町	15	10.1
7	福山市	460	10.0
8	笠岡市	41	9.2
9	神石高原町	4	5.0

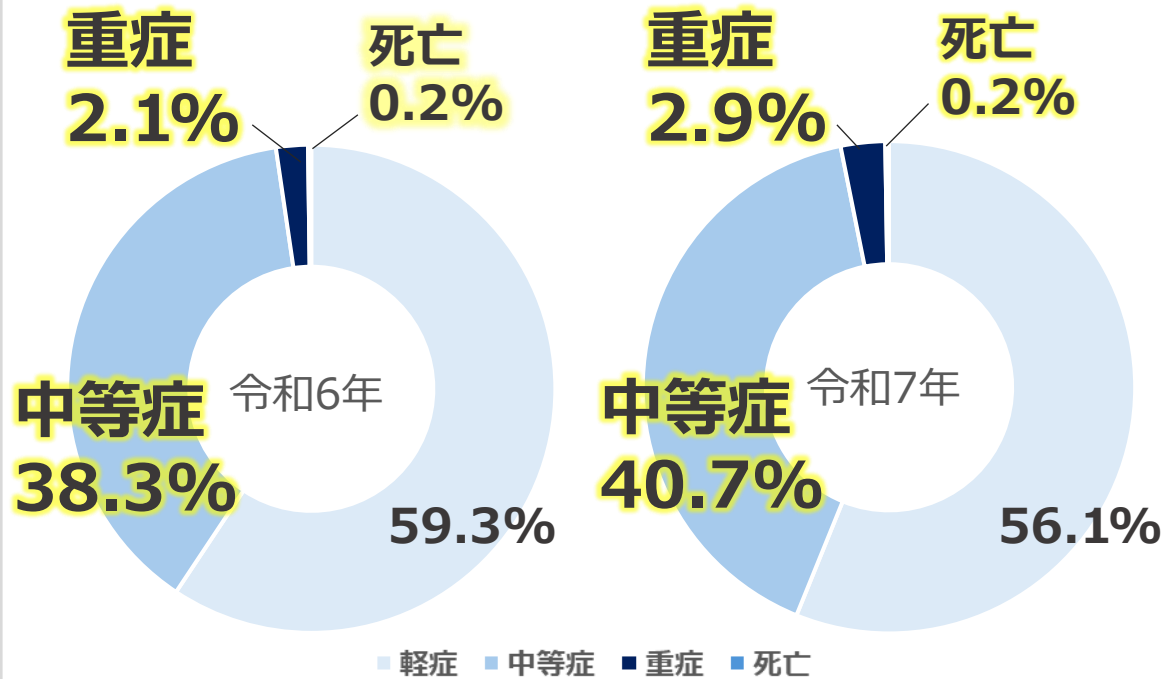
令和7年

		救急搬送者 総数	人口比換算 (1万人あたり)
1	竹原市	45	20.1
2	笠岡市	70	15.9
3	世羅町	21	14.6
4	尾道市	134	10.7
5	府中市	36	10.3
6	三原市	86	10.0
7	井原市	35	9.5
8	福山市	390	8.6
9	神石高原町	6	7.8

備後圏域搬送者 世代別・重症度分類比較

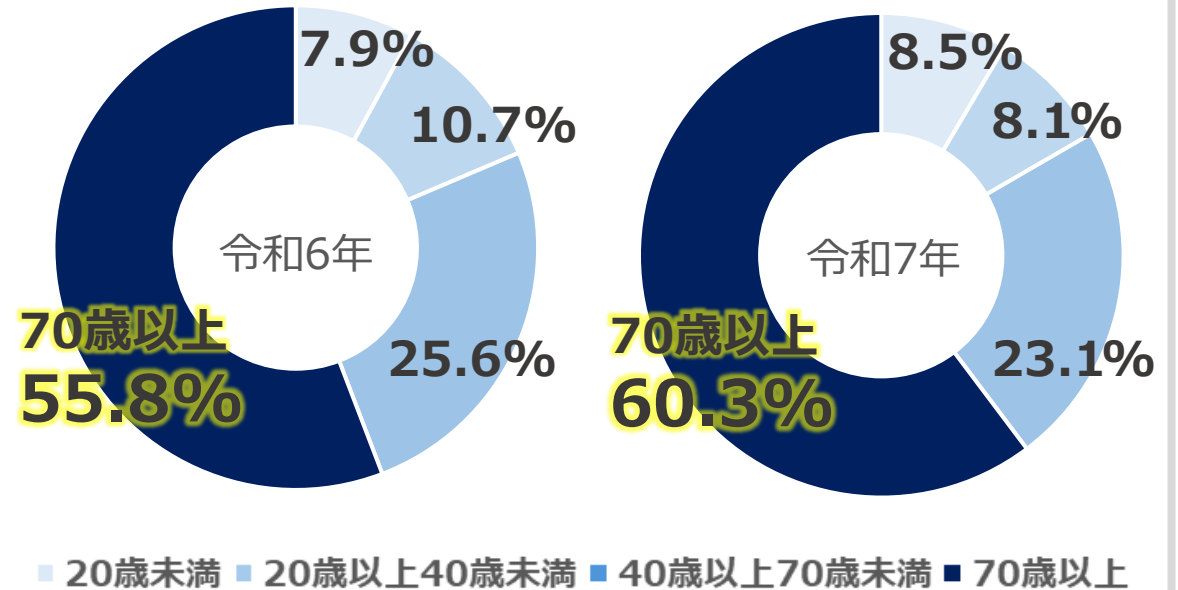
期間：令和6年5-9月、令和7年5月-9月

重症度分類 比較



● 中等症・重症の割合が昨年より増加

世代別比較



● 70歳以上の割合が4%増

対策強化ポイント

昨年の備後圏域熱中症救急搬送状況 特徴

- 1 **中等症・重症**の割合が増加
- 2 **70歳以上**の割合が6割を超える

対策案

● 早期からの熱中症対策

熱中症のリスクを減らすためには、

普段から暑さにカラダを慣らし、汗をかきやすい体にしておくことが大切

● 高齢者への熱中症対策呼びかけ強化

高齢者は、老化に伴い暑さを感じにくくなったり、喉の渇きも感じにくくなる

消防本部や民生委員、社会福祉協議会への協力要請など高齢者への呼びかけを強化

暑さにカラダを慣らしておこう(暑熱順化)

本格的な暑さが来る前の5～6月にトレーニングをはじめましょう

通常

「やや暑い環境」で
「ややきつい」と感じる運動

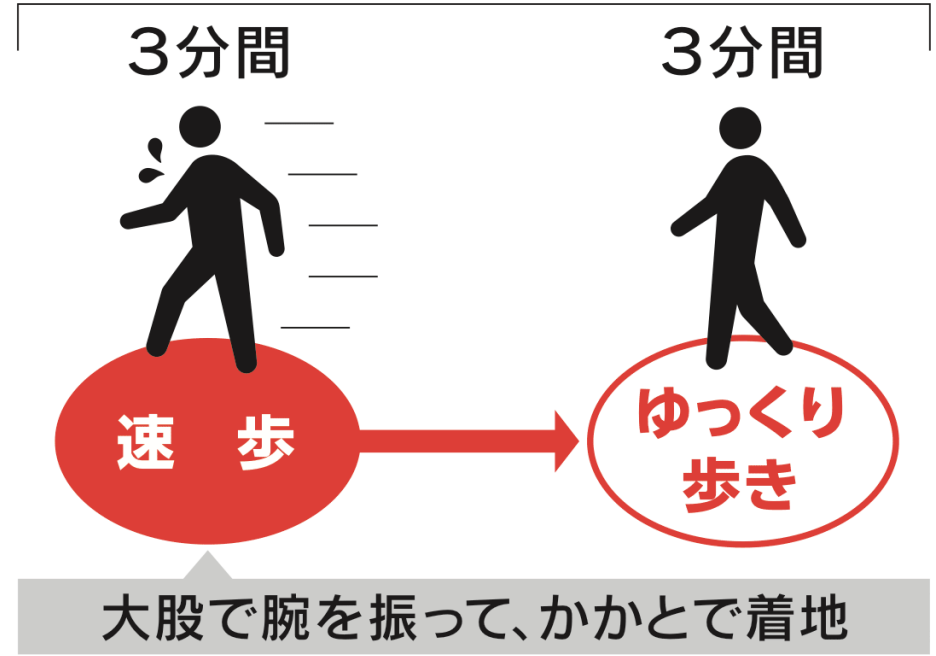
1日30分間／1～4週間

体力に自信のある方

屋外でのジョギングやジムでの
ランニングマシン・エアロバイクなどで
「ややきつい」と感じる運動

中高年や体力に自信のない方

インターバル速歩



これを1日5回以上／週4回以上／4週間行う

高齢者のためのサポート

のどが渇かなくても
水分補給

部屋の温度や湿度を
こまめに測る

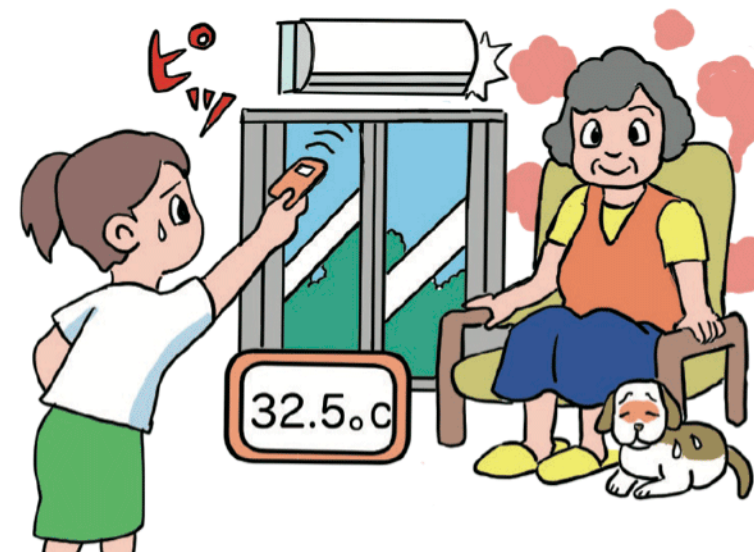
エアコンの活用

積極的にエアコンを使い、室温を28℃以下に保つ。

暑さを避ける

暑い日には、不要な外出、屋外での作業を控える。
水シャワーや水浴びも体温を下げるのに有効。

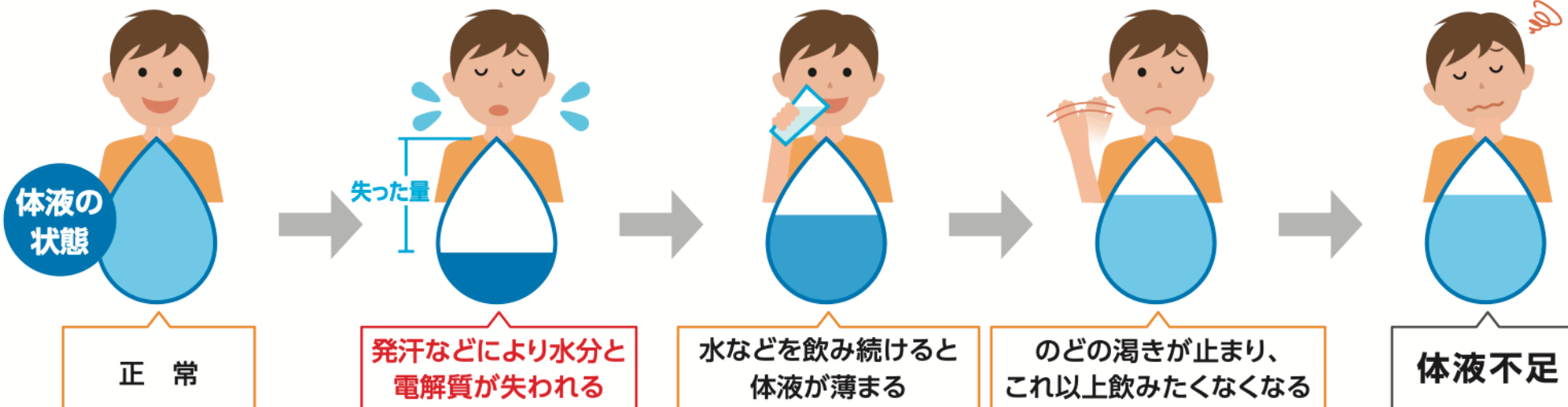
室温が高い部屋の中で
エアコンをつけずにいると
危険です!



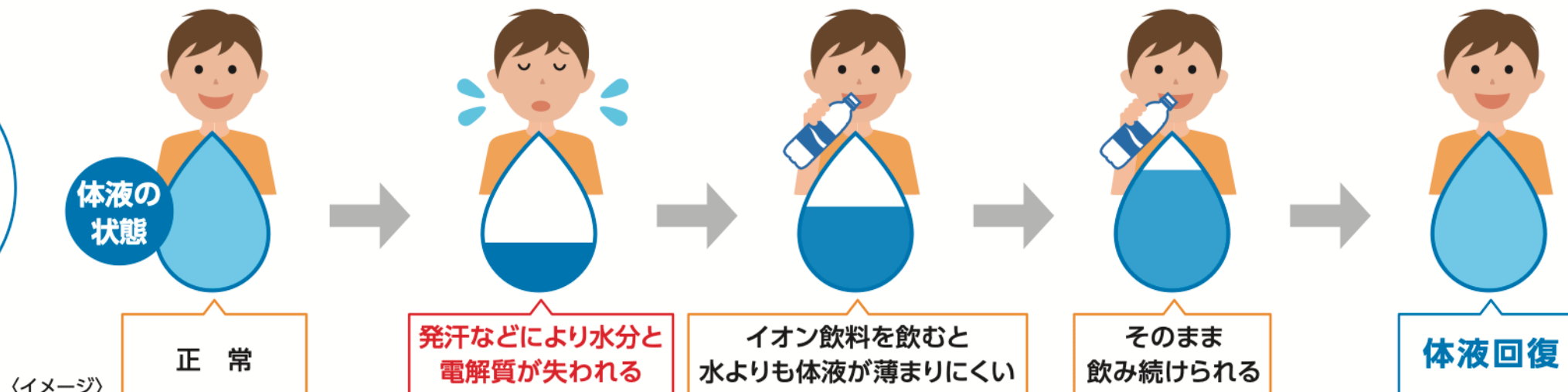
高齢者に対して積極的に声をかけましょう!

発汗時などにイオン飲料を飲むことが大切な理由

水・お茶など
イオン(電解質)を
含まない飲み物



イオン飲料
イオン(電解質)を
含む飲み物



アジェンダ

司会:福山市備後圏域連携推進室長

■ 備後圏域連携協議会代表者 ご挨拶

(福山市副市長 中津雅志)

■ 大塚製薬株式会社中国支店代表者 ご挨拶

(大塚製薬株式会社ニュートラシューティカルズ事業グループ中国支店 支店長 加納大輔)

■ 昨夏の振り返りと熱中症対策の先進的な取組事例紹介

(発表 独立行政法人環境再生保全機構 佐古勇策様)

■ 備後圏域内 熱中症救急搬送者数の現状

(発表 環境保全課・大塚製薬株式会社ニュートラシューティカルズ事業グループ中国支店)

■ 2026年度 熱中症啓発活動プランについて

(発表 自治体様・企業団体様)

■ ポスターお披露目

■ クロージング

(福山市経済環境局長 藤井伸哉)

従業員の 熱中症対策アンバサダー取得



- 現場での有識者育成
- 従業員による店頭におけるお客様とのコミュニケーション促進

店頭での情報発信



- 店頭にて啓発ポスター設置
- お客様へのお声がけ時に熱中症対策情報を伝達

SNSの活用



- 公式SNSより熱中症予防についてフォロワーの皆さまに呼びかける

店頭での情報発信・欠品防止



- 熱中症対策商品の集合展開にて積極的な水分補給を啓蒙
- 常に冷えた飲料を提供可能な体制構築
- その他、夏を涼しく過ごすグッズの提案

クーリングシェルター施設としての情報発信



- 写真は2025年の福岡県八女市とゆめタウン八女の取組み
- 涼みに来ていいですよ！と市民全体へ情報発信
- 店内のソファー等を増設予定

従業員の安全と健康管理



- 働く環境の整備
適切なエアコン使用と扇風機の活用
- こまめな水分補給と水筒持ち込み推奨
- 規則正しい生活習慣の啓蒙
- 無理をしない・させない。体調変化に気付いてあげられる企業風土の醸成

店頭からの情報発信・欠品防止



- 「熱中症対策」に関する販促物設置にて熱中症対策を啓発
- 熱中症対策飲料の拡充

各店店長の熱中症アンバサダー受講



- 各店店長が熱中症に関する正しい知識を習得する。
- 店頭でのお声がけ、接客による熱中症啓発を行う。

社内外ポスターの掲示



- お客様へのポスターでの啓発
- 熱中症対策の社内・グループ内でのポスター掲示

来店されるお客様への店頭からの情報発信と、社内・グループ内での情報共有を行う

市民全体への啓発

熱中症対策アンバサダー講座の展開



- 協定締結の環境省の他、農水省、文科省の後援のもと講座を展開
- 圏域内の自治体・企業へ講座を広く周知し、熱中症に関する正しい知識の普及に取り組む

熱中症ポスター・リーフレットのご提供



A4両面リーフレット

ポスター

- 市民向けに、熱中症対策ポスター、リーフレットを作成し啓発活動を展開

商品を通じた熱中症対策の啓発



- 熱中症対策の一環として、飲料を活用した適切な水分・電解質補給を啓発



市民対象の研修等での啓発 熱中症を意識した防災対策



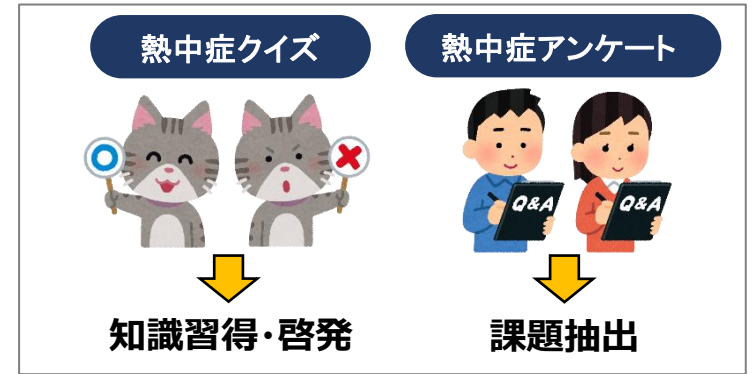
- 熱中症を意識した防災対策に関する啓発資材の作成
- 地域の医療提供施設等と連携し、熱中症を意識した防災対策の情報を伝達

市民対象の研修等での啓発 くすりによる脱水を意識した熱中症対策



- くすりによる脱水に関する啓発資材の作成
- 地域の医療提供施設等と連携し、くすりによる脱水を意識した熱中症対策の情報を伝達

熱中症クイズによる 熱中症対策の啓発と意識調査



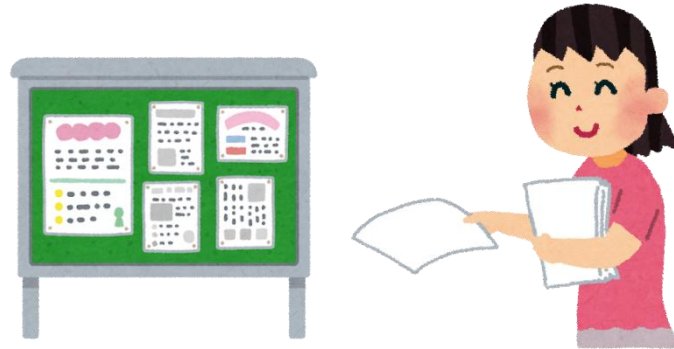
- 熱中症クイズを用いて熱中症対策の重要性を伝達
- 熱中症対策に関するアンケート調査を実施し市民の熱中症対策への意識を調査
- アンケート結果から、熱中症対策推進に向けた課題を抽出

熱中症対策アンバサダーの取得

- 大学担当教員・学生の取得促進
- 地域・職域連携事業で本学教員・学生から参加者に熱中症対策の知識を啓発



病院内へのポスターの掲示等



- プロジェクト内で作成した、ポスター、チラシの掲示・配布を行う。

熱中症対策アンバサダー講座の受講



- 熱中症対策の知識を深める。
- 患者様に対して、より効果的なアドバイスを行う。

ランキンLand！にて 熱中症について取り上げ(仮)



- 毎週金曜放送 10時30分～11時25分
放送の「ランキンLand！」にて
熱中症について取り上げます。

※尺は要調整 3分想定。

・期間は要調整

イマナマ！ SNS(インスタ・X)活用



- RCCワイド番組「イマナマ！」
SNSを活用し熱中症予防について、
フォロワーの皆様呼びかける。

- ・インスタ(フォロワー1.3万人)
- ・X (フォロワー1.4万人)

期間は要調整

イマナマ！TIMESパブ枠で放送



- イマナマ！内で放送している、
イマナマ！TIMESコーナーにて、
60秒×2回パブで熱中症について放送しま
す。

※期間未定

- ・【イマナマ！TIMES】
毎週月曜日～金曜日
15時40分～18時56分

報道・情報番組内での 熱中症関連の発信



- アナウンサーが熱中症アンバサダーの資格取得（調整中）
- 福山市の熱中症関連のイベントへ取材
- 天気コーナーなどで熱中症について注意喚起を行う

各種SNS等での発信



- SNS等で報道内容の配信、熱中症予防関連の呼びかけを行います。

自社イベント等での熱中症啓発



- 自社イベントで熱中症について注意喚起や、熱中症啓発を行う。（イベント調整中）

社内外への広報活動

SENSOR

No. 086
2025/7

東京海上研究所ニュースレター

トピックス

”見えない暑さリスク”への備えが企業にも求められる？
～気温だけでは測れない熱中症リスク～

最近の記録的な猛暑を受け、熱中症への社会的関心が高まっています。2025年6月からは、一定の暑さ基準に達する環境下で作業を行う場合に、事業者には「安全配慮義務」として熱中症予防措置を講じることが求められるようになりました。この基準として用いられているのが、「WBGT（暑さ指数）」という熱中症リスクを示した指標です。では、このWBGTとはどのような指標なのでしょうか？

- 東京海上研究所が発行するニュースレターを通じ、最新の研究知見に基づく熱中症リスクと対策を発信
- 「WBGT（暑さ指数）」など気温だけでは見えない暑さリスクを企業・お客様・代理店へわかりやすく解説し注意喚起を実施

セミナーの開催

参加
無料

東京海上日動 お客様向けオンラインセミナー
「労働災害の防止 熱中症対策2026」

■ 日時：2026年6月2日（火）14:00-15:00 2026年6月3日（水）14:00-15:00 ※両日も同じ内容となります
■ 定員：各回500名（無料・定員になり次第締め切らせていただきます。）
■ 開催方法：オンライン形式（Zoomウェビナーを使用してのセミナーとなります。） ※ご参加にあたり事前アンケートの回答をお願いいたします。

《内容》
労働災害の防止 熱中症対策2026
講師：東京海上日動火災保険株式会社
コマーシャル損害部 ロスプリ&テクノロジー戦略チーム（LTS）

- お客様向けオンラインセミナーを開催
- 最新の法令動向や現場で実践できる具体的対策を紹介し、企業の安全配慮義務への対応を支援

「万が一」への備え（補償の見直し）

- 傷害保険等による熱中症補償を通じ、「万が一」の事態に備える安心を提供

- 熱中症による労災事故・死亡事故の増加や法改正を踏まえ、補償改定による備えの充実

- 保険を通じた備えと予防啓発で地域全体のレジリエンス向上



熱中症対策アンバサダーの取得

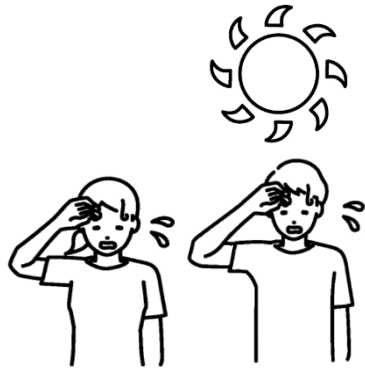
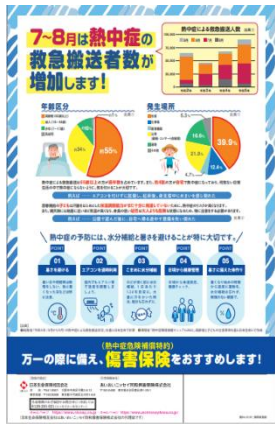
- 社内の取得促進
- 代理店への周知
- 代理店と連携し事業者様へ熱中症対策アンバサダーについて周知

日本生命
あいおいニッセイ同和損保
ニチイ学館

日本生命
あいおいニッセイ同和損保

日本生命
あいおいニッセイ同和
損保

熱中症ビラを活用して啓発



(参考)

- 備後圏域地区にお住まいのお客様にこれから迎える夏対策のアナウンス



熱中症チェックシートで予防対策



- 備後圏域で仕事される方、住まいの方に対して、熱中症セルフチェックシートを活用した熱中症予防ツールを提供。
- 日本語、英語、ベトナム語等5か国語に対応しており、幅広く活用することが可能



あんしんおさんぽNAVI「ALKOOあるこう」



- 散歩や屋外活動時に熱中症リスクを軽減するためのアプリを提供
- 安全な散歩ルート・行き先の選定を科学的データに基づくサポートにより安全対策が可能

日本生命
星光ビル管理

主として備後圏域のお客様および従業員へ情報提供

グループ会社一体となり熱中症啓発を行う。



MS&AD あいおいニッセイ同和損害保険



<備後圏域内の各社概要>

	顧客数	従業員数
ニチイ学館	1555	685
あいおいニッセイ同和損保	8200	70
日本生命	90377	430

クーリングシェルターの提供

- WBGT 30 以上の場合で体調が悪くなってしまった通行人に対し、休憩スポットを提供を検討中（昨年度、実績あり）

市民全体・高齢者への啓発

環境省のチラシ等を活用した、熱中症対策の啓発活動の実施



- 営業店のロビーやA T Mコーナーにチラシを掲載し、熱中症対策の啓発活動を積極的に実施する

熱中症対策アンバサダーの取得



- 営業店行員が熱中症対策アンバサダーを取得することで、細心の熱中症対策や応急処置の知識を身につけ、地域社会の熱中症予防に貢献する。

クーリングシェルター・一時休憩所の設置数拡大



- 福山市内の営業店16カ店をクーリングシェルター施設として認定
- 小中学生の登下校中の熱中症リスクの対策として、上記16カ店を一時避難施設として開放



番組出演者による 熱中症対策アンバサダー取得



- 番組出演者等によるアンバサダー受講
- 制作・報道現場において熱中症に関する正しい知識をもつ
- 番組を通して熱中症啓発を行う

「丸ごと好奇心知っとる」内で 熱中症と各社の取り組み紹介



- 水木11:25～11:30金10:25～11:00
放送「丸ごと好奇心知っとる」にて
熱中症啓発と各社の活動について取り上げ

※尺は要調整 1～2分想定。

自社イベントでの熱中症啓発



- 夏に開催予定の自社イベントで
熱中症について注意喚起を行う。

実施イベントについては要調整

番組出演者等による 熱中症対策アンバサダー取得



- 番組出演者等によるアンバサダー受講
- 制作・報道現場において熱中症に関する正しい知識をもつ人材を育成

情報番組を活用した 情報発信



- アンバサダーを取得した出演者等による熱中症予防の啓発・情報発信

※ニュースコーナーや天気予報コーナーの活用も想定

オウンドメディアを活用した 情報発信



- オウンドメディアでの記事掲載等を通じた熱中症予防の啓発・情報発信

※2020年3月創刊
※広島にまつわる情報を毎日発信

福山市と協働で薬局をクーリングシェルター化



指定者熱避難施設
クーリングシェルター
COOLING SHELTER



- 福山市作成のクーリングシェルターのステッカー掲示
- 市民の方々に一時休憩場所として開放
- 小学校など福山市内の学校にも帰宅時の避難場所として通知

社員の熱中症対策アンバサダー取得



- 夏場にかけて、患者様への啓発活動に知識の再習得
- 医療事務からも話ができるよう、知識の拡充
- 在宅訪問においても、注意喚起と適切な指導

福山市民への啓発活動・情報発信



- 大塚製薬様の販促物を活用し、患者様に啓発
- 熱中症対策飲料や飴などを設置し、コミュニケーションを図りつつ、啓発を図る
- 福山市内20薬局、延べ1万人に啓発



試合来場者、自社運営・管理施設における啓発活動



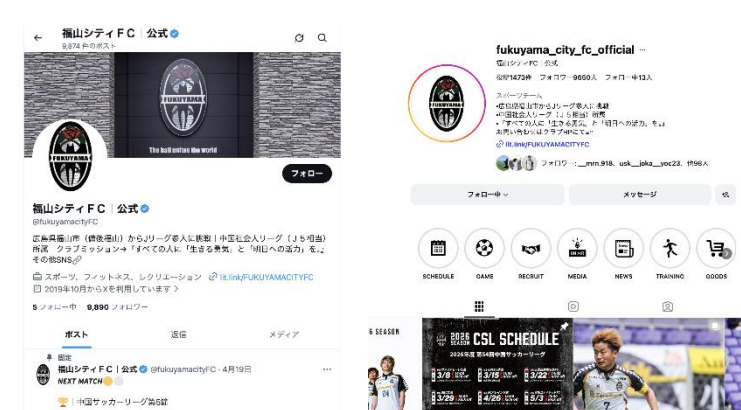
- 主催試合における来場者への啓発（チラシ配布等）の実施
- 自社運営施設および管理施設への啓発物の設置

クラブ内活動時における熱中症防止対策の実施



- クラブ活動時における熱中症対策の実施強化
- 発生時の初動対応体制の整備・徹底（経口補水液の常備 等）
- スタッフの熱中症対策アンバサダー講座受講の推進

クラブ内での取り組みについての情報発信



- クラブ公式SNS・HPを通じた熱中症対策情報、取り組み状況の発信
- 試合・イベントと連動した注意喚起および行動促進の実施

熱中症啓発リーフレットの配布



● 例年、福山市・府中市の薬局へ、リーフレットを配布し熱中症啓発

● 健康サポート、疾病予防の観点から水分補給と必要に応じた早めのクーラー活用等を指導するよう「熱中症予防」に真摯に取り組んでいただくよう今年も依頼する

クーリングシェルターとしての声掛け



一般社団法人 福山市薬剤師会
Fukuyama Pharmaceutical Association



● 熱中症特別警戒アラートが発表された際、どなたでも涼んでいただけるよう、薬局を開放

● 熱中症啓発リーフレットを活用し、来局者へ熱中症対策情報を提供

薬剤師の熱中症対策アンバサダー取得



- 薬剤師の熱中症知識の習得に活用
- 薬局来局者とのコミュニケーション促進

熱中症対策 暑熱順化について 情報発信



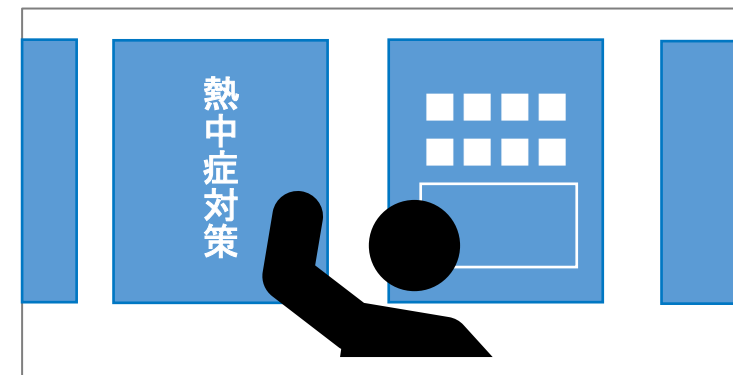
- 学内システムを利用し、学生・教職員へ情報発信
- 早期に情報を発信し、暑さに慣れるための暑熱順化のトレーニングを紹介

クールビズの実施



- 早期に長期のクールビズを実施
- 学内掲示を行い、来学者にも周知を図る

熱中症予防ポスター掲示



- プロジェクト共通のチラシ・ポスターの掲示
- 学生・教職員及び来学者の熱中症予防を啓発

① 出張講座



地域向け熱中症予防講座の実施

薬剤師・管理栄養士が交流館や集会所にて、地域住民に対し熱中症対策の啓発活動を実施

② 店内での資格者による訴求



薬剤師・登録販売者による 個別アプローチの強化

スタッフが熱中症アドバイザーの資格を取得。かかりつけ機能の一環として、来局患者様及び、地域の皆様への熱中症予防（服薬・水分・栄養）の継続的な声かけを実施

③ クーリングシェルターの開放



店舗スペースの涼みどころ活用

調剤待合室等をクーリングシェルターとして開放し、自治体HPにも掲載済み。地域住民の一時避難・休憩場所として活用

※2025年度は児童の下校時の避難場所としても運用実績あり

市民全体・高齢者への啓発

店舗・ATMを起点とした「拠点型」啓発

ATM・店舗掲示による「拠点型」啓発



店舗入口・ATM周辺に掲示し、来店前後の導線で周知



掲示物・チラシを併用して周知

入口・ATM横・掲示

高齢者にも見やすく

短時間で伝達

- 営業店ロビー・待合席に共通のポスター・チラシを設置する。高齢者向けの注意喚起も含める。
- ATMコーナーに注意喚起の簡易掲示を実施する。

行職員による「声掛け型」啓発 (アンバサダー活用)

法人訪問時の「声掛け型」啓発



訪問時にチラシを手渡し、従業員への周知を依頼



説明会・朝礼等でも展開可能

訪問時の一言

アンバサダー活用

職域へ波及

- 社員が数名ほど熱中症対策アンバサダーとなり高齢者向け、法人取引先等に声掛けや注意喚起を行う。
- 行内向けに安全対策を実施することで、注意喚起を行う。

事業サポート課



- 「健康で楽しい生活づくりに貢献したい」という思いから、社会貢献の一環として無料の健康教室を実施
- 実施場所
いきいきサロン・老人会・企業・教育機関など
- 熱中症予防をテーマに、クイズを交えながら予防方法や対処方法についてわかりやすく周知

直販部門



Yakult
ヤクルト夏季特別販売「熱中症対策」のご案内

【Tough-Man 特約販売(555ml)】 お取引先特別価格 1ケース 3,580円(税込) 19~22歳大人(送料別)	【オアシススポーツ 555ml】 お取引先特別価格 1ケース 2,980円(税込) 19~22歳大人(送料別)
【お祝い兼用 555ml】 お取引先特別価格 1ケース 2,180円(税込) 19~22歳大人(送料別)	【ファンカス/オアシスプラス 555ml】 お取引先特別価格 1ケース 2,980円(税込) 19~22歳大人(送料別)
【メッツプラスレモネーション 480ml】 お取引先特別価格 1ケース 2,380円(税込) 19~22歳大人(送料別)	【自然が癒した天然水 550ml】 お取引先特別価格 1ケース 1,980円(税込) 19~22歳大人(送料別)

5%OFF

- ヤクルト山陽エリアにおける、お取引先様へ夏季熱中症対策の為ヤクルト夏季特別販売を実施
- ヤクルト夏季特別販売チラシを用意・配布ご案内を実施



宅配部門



- ヤクルトレディがお届けの際、熱中症に関する知識や対策を踏まえた声かけ
- 定期的な訪問による日々の体調確認

市民全体に対しての啓発



クーリングシェルター・ 一時休憩場所として開放



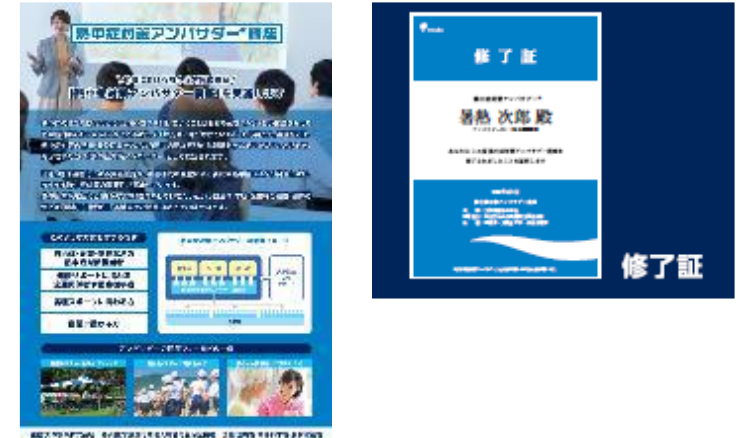
- 市民の方が休憩できるスペースを設置、または確保し、休憩場所として開放する
- 受付カウンターにて塩飴を提供する

市民への情報発信



- 受付フロアにポスターを掲示し、熱中症予防を幅広い層へ周知する
- 各自治体と連携し、あらゆる機会を捉えた情報発信に協力する

熱中症対策アンバサダーの取得



- 備後圏域内の宅急便営業所（25店）において、熱中症対策アンバサダーの取得を推進する
- 来店されるお客さま等、周囲の人への声掛けを行う

集配先での見守り活動

- 集配先で体調不良の方をお見かけした場合、熱中症予防の初期対応や病院などへの通報を行う



町内郵便局との連携による クーリングシェルター施設の拡大



- R8/4/1時点で町内クーリングシェルター18ヶ所
- R8年度で町内郵便局との連携（町内10郵便局追加）

熱中症対策スポーツ飲料 無償提供を実施



- 役場本庁舎及び各支所4か所において、住民の方が、どなたでも自由にお持ち帰りいただけるよう、スポーツ飲料の無料配布ブースを設置する。

クーリングシェルター施設への のぼり旗設置



- のぼり旗を作成し、町内のクーリングシェルターへ設置、対策期間中にのぼり旗を各施設へ掲示し、町民へアピールを行う。



クーリングシェルターとして町施設の開放



- 町民の方が休憩できるスペースを設置し、水分・栄養補給の啓発情報を伝達。
- 町内クーリングシェルター施設の情報を町ホームページ・広報誌等を用いて発信。

町民等への情報発信



- 町ホームページ、広報誌、ライン、ケーブルテレビを活用し、熱中症予防に関する情報を発信。
- 熱中症予防に関する啓発チラシ・ポスターを町関係施設に掲示。

高齢者への啓発強化



- 地域のサロン等に保健師が出向き、健康講座の中で熱中症への注意を呼び掛けるとともに知識の普及啓発を行う。
- 具体的な取組は庁内関係課や関係機関と連携して検討を進める。

クーリングシェルター・一時休憩所としての開放



- 市民の方が休憩できるスペースを図書館やショッピングセンター等に設置し、水分補給の啓発情報を伝達。
- クーリングシェルターに熱中症予防に関する啓発資料を配布。

市民向けの情報発信



- 高齢者の見守りで連携協定を締結している宅配サービス事業者・金融機関等が啓発チラシ配布。
- おおむらさき
- 市の公式Vtuber（大夢楽咲煌）を活用した啓発動画を作成。市公式LINEをはじめ観光施設や商業施設等で情報発信。

高齢者への普及啓発



- 保健師や救急救命士による熱中症セミナーを開催。経口補水液を作って試飲してもらい、家庭でできる熱中症対策を伝授。
- 小学生が熱中症を学び、研究発表会で地域住民に熱中症予防の必要性を発信。



公共施設、民間施設へのクーリングシェルター設置数拡大

三原市指定暑熱避難施設
クーリングシェルター
COOLING SHELTER

「熱中症特別警戒情報」が発表されたときに、暑さをしのげる場所として開放する施設です。

- 利用する際の注意事項
- 施設の予約は必ず事前にしてください。
- クーリングシェルターとしての施設は「熱中症特別警戒情報」が発表されたときです。
- 予約は各自でご予約ください。
- 指定場所の予約受付は、ご来場時です。
- 予約できる日時・場所は、指定施設の開設している日時及び指定した場所のみです。
- 事前予約制です。ご了承ください。

- 公共施設44施設、民間施設6施設をクーリングシェルターに指定。
- 熱中症特別警戒情報が発表された際に、避難施設として開放します。
- クーリングシェルター設置数の拡大に努めます。

市民への情報発信

▲ 企業提供のリーフレット

- 三原市と大塚製薬（株）の連携協定に基づき、リーフレットの提供を受けて、周知・啓発を実施します。
- 高齢世代に特化したリーフレットを活用するなど、対象者の特性に応じて、広報します。
- 市窓口だけでなく、高齢者相談センターや民生委員等を通じて広く配布します。

映像を使った予防行動の普及

▲ R7年度に活用した環境省の動画

- 市役所庁舎1階のモニターで、熱中症予防に関する動画を放映。予防方法を映像でわかりやすく紹介します。
- 多くの来庁者が行き交う庁舎内で動画を放映することで、熱中症への注意喚起と意識向上を図ります。
- 昨年度に引き続き、市内ケーブルテレビと連携し、啓発動画を放送。官民連携により普及啓発に取り組みます。



市民向けの情報発信

- 市広報やSNSなど、様々な媒体を活用した熱中症予防の周知・啓発
 - ・こまめな水分補給、エアコンによる適正な室温管理など、熱中症予防のポイント
 - ・本格的な夏を迎える前に「暑熱順化」に取り組むことの重要性
 - ・クーリングシェルター設置の拡大を推進し、その施設についての情報発信を実施

高齢者等への啓発

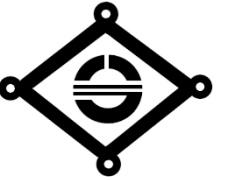
- ※健康マイルージは2026年4月よりバージョンアップし、けんこうマイルージへ切り替わっています。
- 高齢者等のごみ出し困難世帯への支援(福山市ふれあい収集)に合わせ、適切なエアコンの使用など、熱中症予防の声掛けを実施
- お出かけ乗車券の申請書が入った封筒に、熱中症予防の啓発メッセージを印字（75歳以上の市民全員へ送付）
- 健康増進アプリの利用者に対して、暑熱順化など熱中症予防についての情報を発信
- 地域への健康教育や出前講座等において、熱中症予防の啓発を実施

子ども等への啓発



- 児童生徒を対象とした出前授業の際に、熱中症予防の啓発も併せて実施
- 保育施設や小中学校・高等学校に熱中症予防に関するポスターを掲示し、児童生徒及び保護者へ啓発を実施

オンライン参加団体様



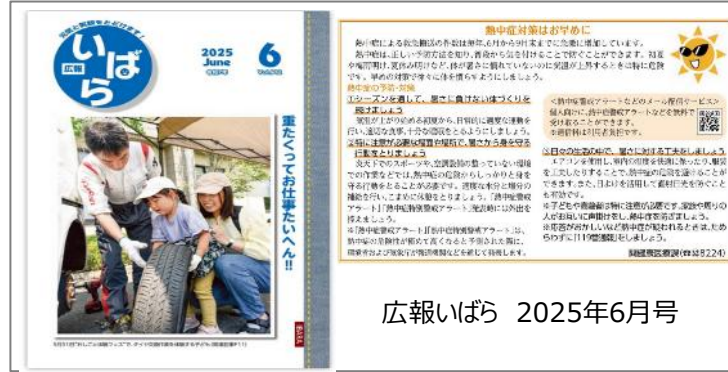
市民全体・高齢者等への啓発

クーリングシェルターの設置



- 公共施設18施設、民間施設2施設でクーリングシェルターの指定を行い、市民が休憩できる場所を設置。
- 新たなクーリングシェルターの施設について、民間施設を募集。

市民向けの情報発信



広報いばら 2025年6月号

- 熱中症による救急搬送の件数が増加し始める6月に市広報やケーブルテレビを用いた広報を実施。
- 熱中症の予防や対策等についての情報発信。

子どもや大人への出前講座



- 保健師による子どもや大人に向けた熱中症予防対策の出前講座を実施。
- 対象者に合わせてわかりやすく対策等を説明。



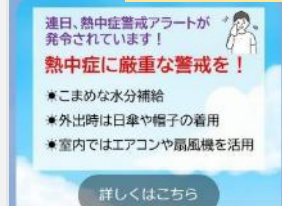
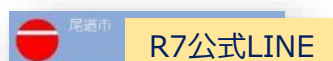
クーリングシェルターの利用周知

各施設掲示
マーク

R7公式LINE

- 公民館や図書館等、公共施設をクーリングシェルターに指定
- クーリングシェルター指定について民間施設への協力依頼
- クーリングシェルターの利用周知についてHPや市公式LINEを活用

市民向けの情報発信



R7ケーブルTV



R7ポスター

- ホームページや市の広報、ライン等を活用した幅広い層への周知
- ケーブルテレビやラジオにより、尾道市の現状や熱中症予防の具体的な対策を発信
- 公民館や図書館等、市内施設50か所にポスターとチラシを設置

地域への健康教育



大塚製薬スタッフによる熱中症対策講演

- 地域の集いの場などで、様々な機会を捉え、保健師による健康教育を実施
- 地域からの依頼に応じた、大塚製薬スタッフによる熱中症対策についての講演の実施



かさおかクールスポットの開設



- 市内 9 カ所に市民の方が休憩できるスペースを設置
- 施設開所日時に冷房の効いている場所へ数人分のイスを用意し、市民へ開放
- のぼり、張り紙で周知
- 広報かさおかと環境課ホームページで市民に熱中症対策を周知

市民に向けた普及啓発



- 愛育委員協議会と協働し、「防ごう！熱中症」のチラシを市民へ回覧にて啓発
- 笠岡市ホームページにて周知

熱中症弱者（高齢者・子ども）への広報等



- 高齢者に対し、ホームページ等で注意喚起、高齢者の通いの場での講話の実施および、岡山県が作成したパンフレットの配布
- 放課後児童クラブに対し、熱中症警戒アラートに留意した運用について、周知・啓発



広報啓発



- ふれあいサロンの参加者に対して、熱中症予防の声掛けや情報提供を行う
- 生活支援コーディネーター等と連携して、地域の高齢者等の気になる方に熱中症予防の声掛けや情報提供を行う
- 介護保険等の利用者に対して、熱中症予防の声掛けや情報提供を行う

職員研修



- 熱中症の予防と対応について、職員へ研修を行う

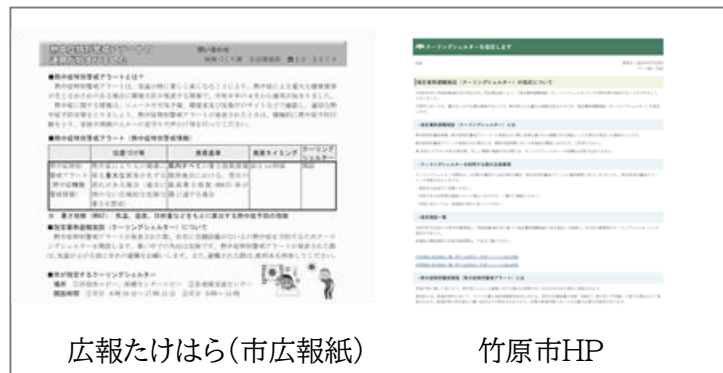


クーリングシェルターの指定



- 市有施設 14カ所（市役所、保健センター、市内地域交流センター）をクーリングシェルターとして指定しています。
- 令和7年7月22日に竹原市内郵便局と協定を締結し、市内8カ所の郵便局をクーリングシェルターとして指定しました。

情報発信



- クーリングシェルターや、熱中症対策について防災メールやSNS、広報誌、市HPを活用し周知する。
- 熱中症特別警戒アラートが発表された場合、市の防災メール、SNS、市HP等で市民に周知する。

高齢者への啓発強化



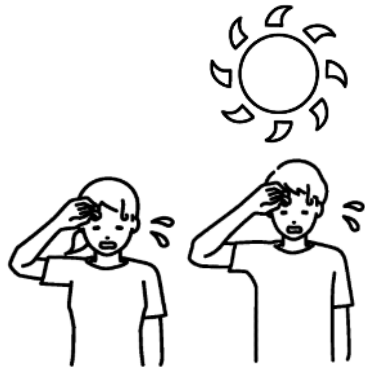
- 市内64箇所で介護予防に取り組んでいる「通いの場」において、熱中症予防について啓発を行う

日本生命
あいおいニッセイ同和損保
ニチイ学館

日本生命
あいおいニッセイ同和損保

日本生命
あいおいニッセイ同和損保

熱中症ビラを活用して啓発



(参考)

- 備後圏域地区にお住まいのお客様にこれから迎える夏対策のアナウンス



熱中症チェックシートで予防対策



- 備後圏域で仕事される方、住まいの方に対して、熱中症セルフチェックシートを活用した熱中症予防ツールを提供。
- 日本語、英語、ベトナム語等5か国語に対応しており、幅広く活用することが可能



あんしんおさんぽNAVI「ALKOOあるこう」



- 散歩や屋外活動時に熱中症リスクを軽減するためのアプリを提供
- 安全な散歩ルート・行き先の選定を科学的データに基づくサポートにより安全対策が可能

日本生命
星光ビル管理

主として備後圏域のお客様および従業員へ情報提供

グループ会社一体となり熱中症啓発を行う。



MS&AD あいおいニッセイ同和損害保険



<備後圏域内の各社概要>

	顧客数	従業員数
ニチイ学館	1555	685
あいおいニッセイ同和損保	8200	70
日本生命	90377	430

クーリングシェルターの提供

- WBGT 30 以上の場合で体調が悪くなってしまった通行人に対し、休憩スポットを提供を検討中（昨年度、実績あり）

マイボトル用給水スポット設置

熱中症による死亡災害は、ほとんどが初期症状の放置・対応の遅れで生じています。こうした現場で重要視されるのが「誰もがすぐに水分補給できる環境」の整備です。

浄水型ウォーターサーバー、ウォータースタンドは水分補給環境の見直しとして数々の企業に選ばれています。



- ☑ おいしいお水が定額料金
- ☑ 冷水・常温水がいつでも使える
- ☑ 自動給水だから水の補充不要
- ☑ プラスチックごみが出ない

- 自治体・企業・教育機関と連携し、マイボトル用給水機を設置
- 給水機周辺にPOPやポスター、バナーを設置し、マイボトル携帯と水分補給を呼びかけ

イベントでマイボトル用給水機設置協力



- イベントなど、水分補給ニーズの高い場所・機会にマイボトル用給水機を協賛
- 従業員によるマイボトル携帯・水分補給の呼びかけによるコミュニケーション促進

熱中症対策への理解を深める研修の実施

ウォータースタンドの目指す未来



- 気候変動対策の両輪である、適応策（水分補給による熱中症予防）と緩和策（プラスチックごみ削減）を研修・出前授業などを通じて呼びかけ

町民全体・高齢者への啓発

クーリングシェルターとしての開放 熱中症対策アンバサダー取得



- 町民の方が休憩できるスペースを設置し、水分・栄養補給の啓発情報を伝達。
- 災害級の暑さからの避難だけでなく、町民の方のコミュニケーションの場としても開放。
- 大塚製薬株式会社主催の「熱中症対策アンバサダー」の受講修了。

農業関係者への啓発

熱中症防止対策



- 作業現場に温度計を設置し、休憩のタイミング等を可視化。
- ガイドラインに沿って、作業員に熱中症に注意すべき点について普及啓発を行う。
- 経口飲料の販売とともに、熱中症を防ぐ知識の啓発を行う。

町民・観光客への啓発

せらワイナリーを クーリングシェルターとして開放



- 町民や観光客の方が暑さをしのいだり、休憩できるスペースを確保。
- 飲料等の販売を通して、水分・栄養補給の啓発情報を伝達。

町民全体への啓発

クーリングシェルターとしての開放



- 町民の方が休憩できるスペースを確保し、水分・栄養補給の啓発情報を伝達。
- 熱中症対策グッズの販売を通して、熱中症を防ぐ知識の啓発を図る。

専門職による職域・地域における 熱中症予防対策の推進



企業に対する対策支援の推進



専門職(医師・保健師等)が連携し、
企業における熱中症対策の強化を
支援する

- 安全大会や研修等で熱中症予防の
講話を実施
- 作業環境下での予防行動(休憩・水分
補給等)を指導

地域住民への普及啓発の推進



地域に密着した活動を通じて、熱中症
リスクの高い層への直接的な働きかけ
を行う

- 公民館や地域サロン等で講話を実施
- 当協会セミナーにおいて熱中症対策を
周知

多様な媒体を活用した 情報発信による啓発



SNS等を活用したタイムリーな情報発信
により、地域全体の熱中症予防意識の
向上を図る

- SNSやホームページで注意喚起を発信
- 予防方法(暑さ指数・水分補給等)
の周知
- リーフレット等で広く情報提供

商品お届け・健康教室の際の情報発信



- お客さまへの商品お届け時にチラシを配布し、熱中症対策情報をご案内
- 地域で実施している「健康教室」の際にチラシを参加者に配布
- 本社事務所・センターでのポスター・チラシ設置

従事者の熱中症対策アンバサダー取得



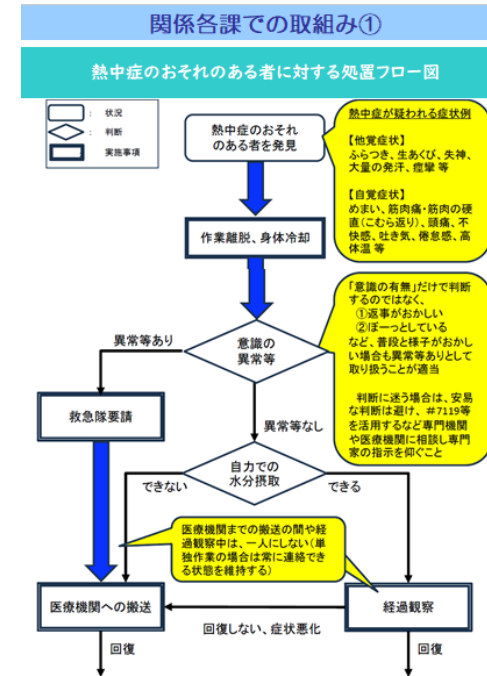
- 従事者の知識習得
- お客さまとのコミュニケーション促進

各支店等での啓発・情報発信

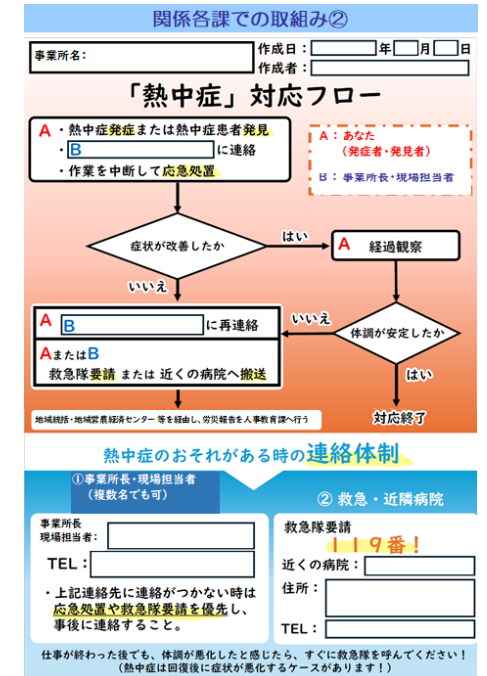


- 各支店等にてポスター掲示やチラシ配布により啓発を行う

「熱中症」対応フローの共有



- 熱中症のおそれがある方を発見した際の処置フローを作成し、組織全体で共有している



情報発信強化、品切れ防止



- 店舗内各所に設置のデジタルサイネージ、また店頭入り口や視認性の高い箇所でのポスター設置による情報発信
- 熱中症対策及び関連商品の売場拡充と、品切れの防止。
(飲料、塩飴、Cool関連雑貨・衣料 等)

クーリングシェルトーの役割



指定暑熱避難施設
クーリングシェルトー
COOLING SHELTER



- 全館空調を備えるショッピングセンターの強みをいかし、各所にソファなどを設置し皆さまに心地よい環境を提供
- イートイン、フードコートスペースなどを生かしリーフレットの配布
水分補給啓発及び、情報発信

従業員の熱中症対策 アンバサダー取得



- まずは従業員が熱中症に関する正しい知識をもつ
- 有識者の拡大を推進し、知識習得の裾野を広げる
- お客さまとのコミュニケーション推進、接客に生かす取組みとする

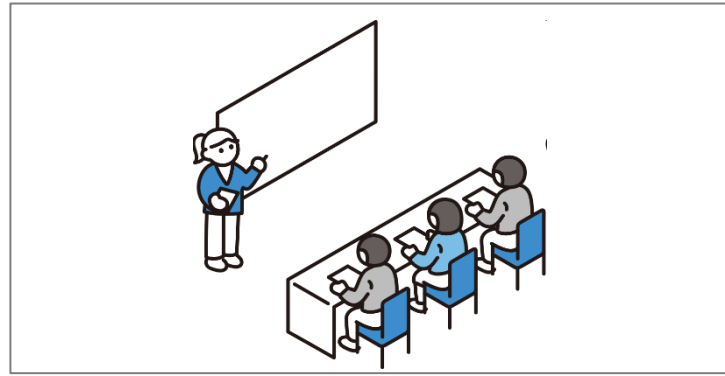
備後圏域内に所在する 8 店舗にて熱中症対策強化・情報発信

お客さまへの啓発



- 事務所へのポスター掲載による啓発活動
- 代理店を通じた顧客への啓発活動

事業者向け熱中症対策セミナー



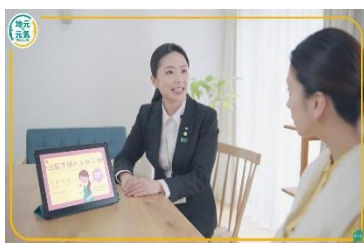
- 事業者を対象とした熱中症対策セミナーの実施（これから企画・検討）
- 改正労働安全衛生規則に則った職場での熱中症対策について周知を実施

安全衛生委員会で熱中症対策について議論



- 外出の多い従業員の熱中症対策を実施
- 各社員が担当する取引先等への啓発活動に活用

市民全体への啓発



地元元気 行政サービスのご案内

市民のみなさま、お一人おひとりのニーズに合わせた行政サービス情報等のご案内し、健康づくりや豊かな暮らしをサポートします。



- 福山市の行政サービスを市民のみなさまへご案内する活動に併せて啓発チラシを使い周知

高齢者への啓発

第7回 明治安田「大人の塗り絵コンクール」作品募集!!

応募期間 10/27・2/9

本コンクール専用応募作品一覧

さらに、本コンクールの作品をご応募いただいた方のなかから抽選で合計20,000名さまにプレゼント!

10/27・11/25	11/26・12/25	12/26・2/9
5,000名様	5,000名様	10,000名様



- 高齢者への啓発 老人施設等へ当社主催の『大人の塗り絵コンクール』をご案内や作品の回収で伺う際に啓発チラシを使い周知

交流館利用者さまへの啓発

MY定期講座 講座案内

公民館からひろげよう! つなげよう!



- 交流館利用者さまへの啓発 当社オリジナル講座『MY定期講座』を交流館で開催時は、熱中症対策についてチラシを使い説明する時間を設ける

高齢者の方への注意喚起



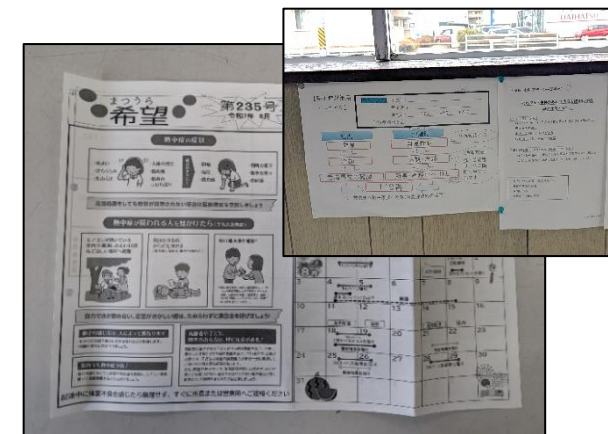
- 安否確認を兼ね、可能な限り、手渡し（対面）での商品のお届け
＜緊急連絡先の事前登録制度あり＞
- 地域の高齢者への積極的な声掛け

熱中症対応



- 屋内、屋外等で実施するイベントの際に飲料ならびに休憩スペースの提供
- 体調不良者（熱中症）を発見した際の対応マニュアルの策定

従業員への熱中症啓発



- 従業員が熱中症になった場合の、対応マニュアルの策定
- 社内報にて熱中症に関する情報等の提供
- 定期的に飲料、飴等の提供とネッククーラーの支給

健康会議参加団体 熱中症啓発資材

Otsuka **熱中症からカラダを守ろう**
 早稲田大学人間科学部 名誉教授 医師/博士(医学) 永島計先生

近年、地球温暖化による気温上昇等により熱中症リスクが高まっています。
 熱中症のリスクを下げるためには、「深部体温の上昇を抑える」「水分のバランスを整える」
 この2つを同時に行うことが効果的です。

熱中症の実態

「熱」・「水分バランス」のコントロールで熱中症対策

アイススラリー + イオン飲料

体温が上昇し、脱水がすすむと体水分バランスの乱れや体温調節機能が低下します。その結果、熱中症が引き起こされます。熱中症発症リスクを軽減するためには、水分バランスを適切に保ち、体温調節機能を維持することが重要です。そのためにはカラダの内部冷却と水分電解質補給をセットで実践することが効果的な対策と考えられます。

熱中症予防のポイント

熱(体温)をコントロールしましょう

室内環境の調節
 上手にエアコンを活用しましょう。

体表からの冷却
 = 外服冷却

体内からの冷却
 = 内部冷却

内部冷却の手法の1つがアイススラリーです。アイススラリーは、流動性が高いことから通常の水や飲料よりも、体内の熱をしっかりと吸収し、効率よく身体を冷やすことができるというメリットがあります。暑熱環境下では、活動前に身体を冷やすプレクーリングが最近注目されています。

アイススラリーの特徴

粘度が大きくて飲みやすい 経口冷却効果が持続する

水分バランスをコントロールしよう

食事をきちんと摂りましょう

1日3回の食事で約1,000mlの水分がとれます。特に朝食には気を付けましょう。

こまめに水分補給をしましょう

通常の生活では1日あたり1,200mlを目安に水分補給をしましょう。1日に8回くらい、1回にコップ1杯程度の水分補給を目安にすると良いでしょう。

汗をかいた際には、失った水分と塩分も補うよう心がけましょう。

水分補給の工夫

こまめに水分と塩分と一緒に摂ろう

汗をたくさんかくと、水分と一緒に塩分も失われます。水分と塩分の補給にはイオン飲料がオススメです。

暑さに備えたカラダづくりをしましょう(暑熱順化)

暑熱順化は運動開始数日後から起こり、2週間程度で完成するといわれています。じっとしていれば汗をかかないような暑熱環境でも、少し早足でウォーキングし、汗をかく機会を増やして、夏の暑さに負けないカラダづくりを準備できることとなります。

効果的な運動方法

通常	中高年や体力に自信のない方	体力に自信のある方
1日30分程度 ややゆっくりとした速歩 (ウォーキング等)	1日30分程度「ややゆっくり」と感じる運動 運動例: インターバル歩行(1日分)	屋外でのジョギングジムでのランニング等 エアロバイクなどで「ややゆっくり」と感じる運動
大股で腕を揺らして歩く(30分)	ゆっくり歩(30分)	歩く(30分)
【合わせて60分を5回繰り返すと30分です】		

脱水状態をチェックしてみましょう

尿の色は、脱水状態を確認するのかわかりやすいチェックポイントです。尿色が濃い(濃黄)は水分が不足しています。

尿カラーチャート

1 正常	尿の色が薄い(薄黄)
2	尿の色がやや濃い(黄)
3	尿の色が濃い(濃黄)
4	尿の色が非常に濃い(黄褐色)
5	尿の色が黒褐色
6	尿の色が黒
7	尿の色が黒褐色

尿の色が濃い(濃黄)以上になると、脱水状態が疑われます。尿の色が濃い(濃黄)以上になると、脱水状態が疑われます。

カラダの水分状態を確認してみましょう!

カラダの水分状態を確認してみましょう!

尿の色が濃い(濃黄)以上になると、脱水状態が疑われます。尿の色が濃い(濃黄)以上になると、脱水状態が疑われます。

備後圏域連携協議会 × Otsuka 大塚製薬

気をつけよう!

熱中症!

3つのポイント 熱中症対策 知っていますか? 熱中症の約半分は屋内で発生しています。

1 室内ではエアコンの活用を!

夜間の就寝中も、熱中症のリスクは十分にありま。昼夜問わずエアコン等を使用して温度調節をしましょう。

2 こまめに水分と塩分の補給を!

水分と塩分をどちらも補給することが大切です。塩分の補給には、塩分タブレットや塩分を含む飲料水等を活用しましょう。

3 外出時は暑さを避ける工夫を!

帽子をかぶったり、日傘を活用することで、直射日光をよけましょう。こまめに休憩をとることも大切です。

高齢者に対する熱中症対策のポイント

高齢者は、若い人くらべてどのどの渴きを感じづらくなっています。こまめに水分+塩分補給を心がけましょう。

屋内でも熱中症に注意!

環境省「熱中症予防情報サイト」からの情報をチェック!

令和8年度の暑さ指数(WBGT)の情報提供は4月22日(水)~10月21日(水)迄の予定です。
 ▶▶▶ <https://www.wbgt.env.go.jp>

環境省LINE公式アカウントはこちら!

アカウント名: 環境省 LINE ID: kanryo_jpn
 環境省LINE公式アカウントのQRコードをスキャンしてフォローしてください。

令和8年度の暑さ指数(WBGT)の 情報提供期間(予定) | 令和8年4月22日(水)~10月21日(水)

熱中症対策アンバサダー講座

主催：大塚製薬株式会社
特別協力：独立行政法人環境再生保全機構
後援：環境省、文部科学省、農林水産省

実施概要

- 受講料：無料（有効期限なし・更新料なども発生しません。）
- 開講期間：4月1日～12月31日
- 受講方法：オンライン

講義内容

講義 PART1
(30分)

講義 PART2
(30分)

トピックス動画
(2本・計30分)

確認テスト



ご活用シーン

子どもや高齢者への声かけなど



運動会・スポーツ競技会など



健康セミナー・地域イベントなど



成果報告会のご案内

『2026年度 熱中症対策取組実施後の報告会』

□開催目的

- ・備後圏域熱中症対策官民連携プロジェクトでの各団体の取組み共有
- ・熱中症対策取組み実施の成果、課題の共有

□主催・共催

備後圏域連携協議会、大塚製薬株式会社中国支店

□開催場所

福山市内 予定

□参加者

備後圏域熱中症対策官民連携プロジェクト 参画企業・自治体様

□開催日時

2026年11月 予定